

シラバス / Syllabus

Course # 科目番号	1902542	Instructor 担当教員	王慈敏
Course Title 授業科目名	初級日語：口語表達與生活文化 (二) Japanese Oral Communication & Culture Pre-intermediate (II)	Semester 開設学期	1142

Class Hours 授業時間	13:10~16:00 Thursday 木曜日 13:10~16:00
Classroom 教室	Room 225, Center for Language Studies, in the Library & Information Building 言語センター225 教室
Credit Hours 単位数	2 単位 (選択科目)
Phone	05-2720411 ext. 16727
E-mail	clstmw[at]ccu.edu.tw
Web Page 公式サイト	https://ecourse2.ccu.edu.tw/ (中正大學 Ecourse 課程平台)
Office Hours オフィスアワー	(或先與授課教師預約時段)

第一次上課將進行期初日語能力檢核測驗（佔學期成績 4%），欲修課者請準時出席。

レベル判定をするため、第一週目に本センターによるレベルチェックテストを受けること（総合成績 4%）。

A. 主な対象学生

日本語能力試験 N4 程度の日本語力を有する者、または「基礎日本語実用文型(二)」「基礎日本語実用文型(三)」「基礎日本語実用聴解会話(二)」などを修了した者。

建議修課對象

具有 N4 以上程度日語能力者，或曾修畢「初級日語：口語表達與生活文化(一)」。

B. 履修要件

「應用英外語學程」の申請を済んだ上で、本センターの日本語レベルチェックテストを受ける必要がある。

修課資格取得

申請通過應用英外語學程且參加本中心的日語分級檢測可評估修課級數者。

C. 到達目標

- 初級日本語を実際の生活場面で運用するための聴解力と口頭表現力を習得する。

學習成效

- 熟練掌握初級日語在實際生活情境中的聽解與口語表達技巧。

2. 文脈に応じて適切な言語ストラテジーを選択する力を高め、即時対応力および会話のやりとりの技術を発展させる。
 3. 日本の生活文化をテーマに探究することで、異文化における語用行動への理解と省察を深める。
 4. 異文化状況において日本語で効果的にコミュニケーションを行う能力を育成し、多角的な視点と文化的感受性を養う。
 5. 協働的なディスカッションや文化比較活動を通じて、言語のアウトプットにおける構成力と論理的表現力を強化する。
2. 提升學生根據語境選擇適當語言策略之能力，發展即時應對與會話互動技巧。
 3. 藉由日本生活文化主題的探索，增進對異文化語用行為的理解與反思。
 4. 培養學生於跨文化情境中使用日語進行有效溝通之能力，並建立多元視角與文化敏感度。
 5. 強化學生的合作討論與文化比較能力，增進語言輸出中的組織與邏輯表達力。

D. 授業の概要・目的

本コースは「聴く」と「話す」のトレーニングを中心とした初級日本語の授業です。日本の生活文化をテーマに、実用的な場面を想定した会話練習やリスニング活動を通して、学生が即時的なコミュニケーションに必要な語感と言語のアウトプット能力を身につけることを目指す。学生が具体的な文化的文脈の中で「聞く・応える・伝える」力を養うよう導く。

さらに、日本の文化現象に関する観察やディスカッションも取り入れ、言語の使用を通じて異なる社会的規範や文化的価値を理解する力を育てる。

グループワーク、テーマに基づいた練習、プレゼンテーション活動を通じて、学生は異文化間コミュニケーションの意識を徐々に高め、多文化な場面で自信を持って日本語で表現する力を養っていく。

課程說明

本課程為以聽說訓練為核心之初級日語課程，透過日本生活文化為主題設計各種實用語境下的會話演練與聽力活動，幫助學生建立即時溝通的語感與語言輸出能力。引導學生在具體文化語境中學習如何「聽懂、回應、表達」。此外，課程亦融入日本文化現象的觀察與討論，幫助學生從語言使用中認識不同的社會規範與文化價值。

課程亦融入生成式 AI 工具作為教學輔助，讓學生根據 N4~N3 的學習目標，可透過 AI 幫助進行「腳本創作」、「會話模擬」與「文化探索」，學習和分析不同的條件設定下產出的異同（例如：說話對象，語境，發話意圖等），進一步強化語言輸出與自學能力。課堂結合角色扮演、文化主題發表等活動，引導學生從實踐中理解日語的語用特徵與背後的文化脈絡，培養其跨文化理解力與日語表達的自信心。

E. 授業形態

1. 日本の生活をテーマにしたユニットを中心に、関連する語彙や表現を導入する。
2. 実際の場面を想定したリスニング練習を通して、理解力と語用判断力を養う。

授課方式

1. 以日本生活主題為單元核心，導入相關語彙與表現方式。
2. 透過真實語境式聽力練習，培養理解與語用判斷力。
3. 進行角色扮演、情境會話演練，強化口語輸出能力。

3. ロールプレイやシチュエーション会話の練習を行い、口頭表現力を強化する。
 4. グループ活動や文化観察のディスカッションを設計し、対話力と文化意識を高める。
 5. 簡単な読解と口頭発表の課題を組み合わせて、学生の統合的なアウトプットを促す。
4. 教師導入語言中文化相關主題（例：感謝、場面話和真心話、意見的調和、謙虛等），設計小組活動與 A I 觀察討論台日兩國語言表述之異同，提升日語的互動表達與跨文化意識。
 5. 結合簡易閱讀的口語報告，和表明發話意圖之腳本發表任務，引導學生輸出。

F. テキスト / 課程用書

「情境日語(初中級篇 1) 聽·說·演練會話集」，大新書局

請尊重智慧財產權，不得非法影印教師指定之教科書籍。

G. 成績評価方法 / 評量方式

評価方法	評量項目	割合(%)
1.プレースメント・テスト&日本語能力テスト	1. 日語前測及日語能力會考	4%+8%
2.出席率・授業への参加度・自習	2. 出席率、課程參與、自學	10%+10%+3%
3.宿題と小テスト	3. 作業和小考	25%
4.中間テスト&期末試験	4. 期中考+期末考	30%
5.期末呈現發表	5. 期末發表	10%

H. 履修における留意点 / 課程要求

1. 出席：授業開始時間に遅れず、授業での練習および活動に積極的に参加すること。欠席した授業を担当している先生に事情を説明してください。正当または正式な理由がある場合での欠席を認めるが、欠席の理由がどのようなものであろうと、再テストを受けることはできない。
2. 教室でのエチケット：公正な試験を行うために、授業時間中は携帯電話の電源を切ってください。また、教室では電話を座席に持ち込まないでください。
3. 食べ物・飲み物：教室に飲食物を持ち込むことを禁止する。教室外の棚に置いておきなさい。

1 出席：出席：準時出席每堂課並參與課堂討論與活動。每次缺席會影響出席及課程參與成績。請假需經授課教師後同意。小考皆無補考機制。

2 教室禮儀：進入語言教室前，請務必尊重所有人之上課權益，務必確認手機已關機、且放置教室前方之櫃上，避免造成測驗或小考的不公平。

3 食物/飲料：教室內禁止飲食。食物/飲料請放在教室外之食物櫃

I. 授業計画 / 課程進度

Week	Date	Topics
1	2/26	課程介紹 檢核測驗
2	3/5	5.買い物：勧めを断る
3	3/12	5.買い物：勧めを断る
4	3/19	6.アルバイトを探す：新しい話題を始める
5	3/26	6.アルバイトを探す：自分の希望を述べる
6	4/2	7.褒められて：ほめる
7	4/9	7.褒められて：褒めに応える
8	4/16	9.ゆずります：申し出る
9	4/23	中間テスト
10	4/30	9.ゆずります：相手の希望を尋ねる
11	5/7	10.マンション：苦情を言う
12	5/14	10.マンション：苦情を言う
13	5/21	10.マンション：規則を説明する
14	5/28	日本語能力テスト
15	6/4	成果発表
16	6/11	期末テスト
17	6/18	彈性任務學習單
18	6/25	彈性任務學習單

* 進度は学生の興味や理解度によって、調整・変更する可能性がある。

* 課程進度將依學生之學習狀況做適度的調整。